

最新の3か月予報と 防災気象情報の変更点について



2024年6月13日

金沢地方気象台

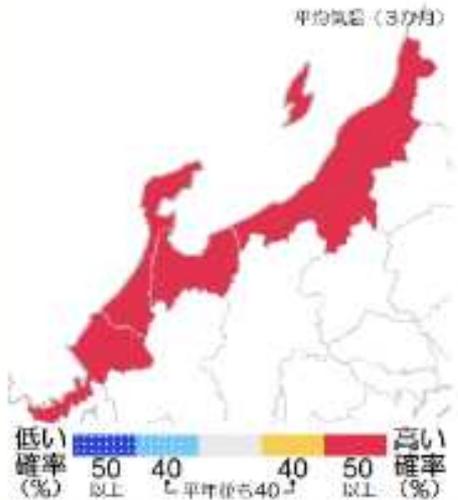
最新の3か月予報について

～ 5月21日発表 ～

3か月予報（6～8月）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

3か月の平均気温・降水量

	平均気温（3か月）	降水量（3か月）
北陸地方	低10 並30 高 60% 高い見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	 <p>平均気温（3か月）</p>	 <p>降水量（3か月）</p>

月別の天候と平均気温・降水量

月別の天候：各月とも、平年と同様の天気経過となる見込みです。
 月別の気温：各月とも、暖かい空気に覆われやすいため高い見込みです。
 月別の降水量：各月とも、ほぼ平年並の見込みです。

月別の天候

06月	<ul style="list-style-type: none"> 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
07月	<ul style="list-style-type: none"> 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
08月	<ul style="list-style-type: none"> 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 06月	平均気温 07月	平均気温 08月
北陸地方	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 低20 並30 高50% 高い見込み </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 低20 並30 高50% 高い見込み </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 低10 並40 高50% 高い見込み </div>
数値は予想される出現確率 (%) です			
	降水量 06月	降水量 07月	降水量 08月
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み </div>	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み </div>	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み </div>

3か月（6～8月）の注意点等

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。また、1年の中で最も気温の高い8月は、高い確率を50%と見込みますので、熱中症に対する対策など、健康管理に十分注意してください。

- ・降水量はほぼ平年並ですが、多くなる確率を40%と見込んでいます。平年の状態であっても、前線の活動が活発となり、大雨となることもありますので、最新の気象情報等に留意してください。

線状降水帯による大雨について
半日程度前から府県単位で呼びかけます

～ 2024年5月27日から運用開始 ～

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月下旬からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

今年の新たな運用

令和6(2024)年～

府県単位で半日前から予測

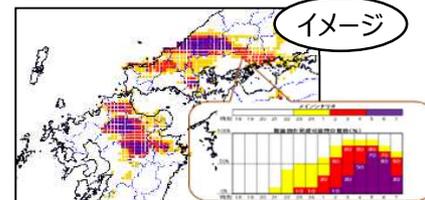
次期静止
気象衛星

令和11年度
運用開始予定



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）



地方気象情報

大雨に関する北陸地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 新潟地方気象台発表

<見出し>

北陸地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する北陸地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 新潟地方気象台発表

<見出し>

石川県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

対象とならない新潟県、富山県、福井県では、府県気象情報についての呼びかけをしない。

府県気象情報

大雨に関する石川県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 金沢地方気象台発表

<見出し>

北陸地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する石川県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 金沢地方気象台発表

<見出し>

石川県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（全般気象情報）

これまで

（見出し）
 強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。近畿地方では14日午後から15日午後にかけて、東海地方では14日午後から15日夜にかけて、関東甲信地方では14日夜から15日午前中にかけて、四国地方では14日夜から15日午後にかけて、北陸地方では15日午前中から15日午後にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

（本文）

…
 <大雨・雷・突風>
 （中略）
 15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、北陸地方 300ミ

…
 16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、北陸地方 200から300ミ

…の見込みです。
 線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。（中略）

これから

※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

全般気象情報

（見出し）
 強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。既に線状降水帯が発生しやすい状況となっている地域や今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある地域があります。

（本文）

…
 <大雨・雷・突風>
 （中略）
 15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、北陸地方 300ミ

…
 16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、北陸地方 200から300ミ

…の見込みです。
 線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。また、今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある地域は、

- 東海地方 14日午後から15日夜にかけて
岐阜県、三重県
- 近畿地方 14日午後から15日午後にかけて
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 関東甲信地方 14日夜から15日午前中にかけて
神奈川県、長野県、山梨県
- 北陸地方 14日夜から15日午後にかけて
福井県、石川県、富山県
- 四国地方 14日夜にかけて
徳島県

です。
 （中略）

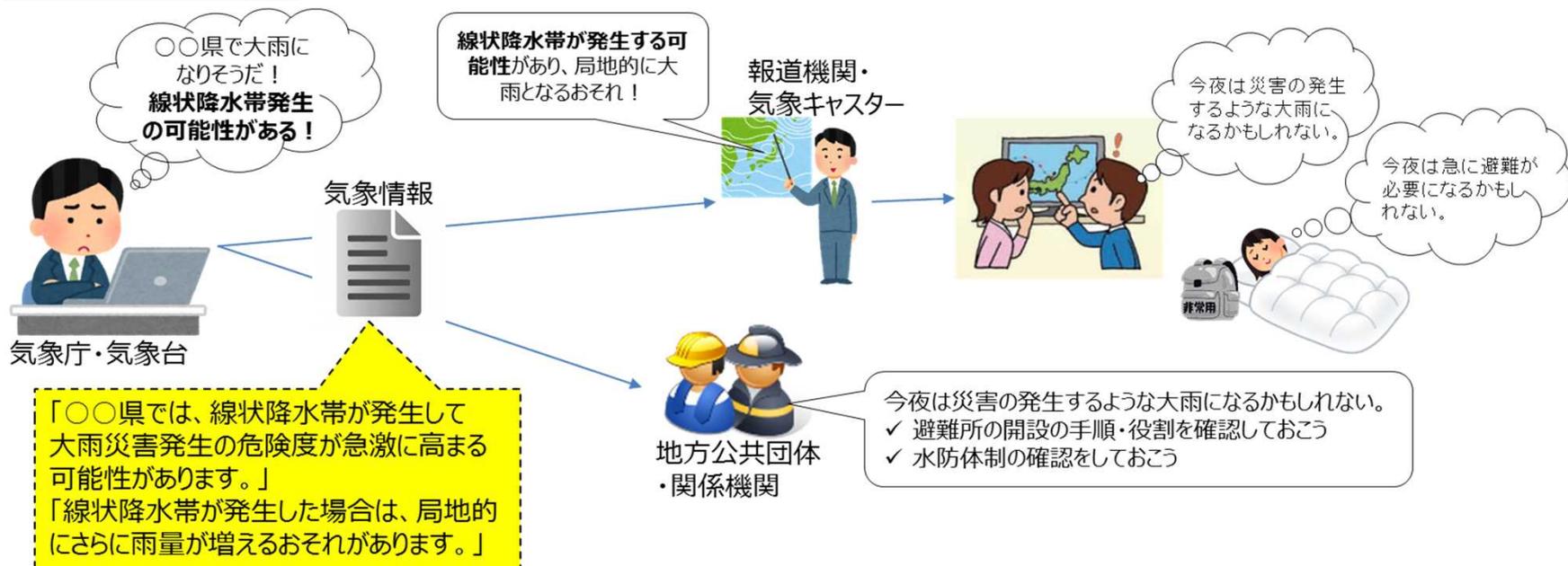
絞り込んで発表
対象地域を

線状降水帯による大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある期間を明確化

呼びかけが行われた時の対応例

府県単位で呼びかけを行います、
これまでと対応は変わりません。

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- **市町村**の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- **住民**の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。



線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけや「顕著な大雨に関する気象情報」といった線状降水帯に関する情報だけでなく、大雨警報やキキクル（危険度分布）等、段階的に発表する防災気象情報全体を適切に活用することが重要です。

気象情報における量的予報の 表現の変更について

～ 2024年出水期から運用開始 ～

気象情報の量的予想を幅のない表現に変更

- 令和元年、気象情報において、24時間先・48時間先からの降水量や降雪量、明後日の風速や波高について、誤差を考慮して幅を持たせた表現を用いて量的予想を開始。
- 幅を持たせた量的予想は、予報の不確実性を伝えることができる一方で、メインシナリオが伝わりにくい課題があった。
 - ・24時間先・48時間先・72時間先の幅を持たせた24時間降水量の最大値のみが合計され、過大な総降水量が使われることがある。
 - ・台風の最大風速や最大瞬間風速の予想は5日先まで幅がないのに対し、気象情報では最大風速や最大瞬間風速に幅を持たせているため、台風の予報より強い予想となる場合があり、齟齬が生じることがあった。
- 運用から5年が経過し、直近4～6年間の降水量や風速の予想の精度を検証すると、24時先・48時間先・72時間先までの予想の精度に大差がないことがわかった。



- メインシナリオ（最も確からしい量的予想）をより伝えやすくするため、令和6年出水期から、降水量や降雪量、風速、波高の幅のない表現に変更します。

変更例（府県気象情報）

幅を持たせた表現

令和5年 台風第7号に関する石川県気象情報 第4号
令和5年8月14日06時26分 金沢地方気象台発表

（見出し）
台風第7号は、15日から16日にかけて石川県にかなり接近し、通過するおそれがあります。加賀では15日夜から16日にかけて、能登では15日夜遅くから16日にかけて土砂災害、低い土地の浸水や河川の増水に注意・警戒してください。石川県では16日は高波に注意・警戒してください。

（本文）
【気象状況と予想】
強い台風第7号は、14日3時には八丈島の南約270キロの北緯31度10分、東経138度05分にあつて、1時間におよそ10キロの速さで北西へ進んでいます。中心の気圧は965ヘクトパスカル最大風速は40メートル、最大瞬間風速は55メートルで中心から半径110キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。
台風は今後、日本の南海上を北西に進み、15日から16日にかけて石川県にかなり接近し、通過するおそれがあります。15日から16日にかけては、海上を中心に風が強く吹く所があり、16日の海上はしけとなる所があるでしょう。
台風の進路や発達によっては、15日夜から16日にかけて警報級の大雨となる可能性があります。また、16日は警報級の高波となるおそれがあります。

【雨の予想】
14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、
加賀 50ミリ
能登 10ミリ
その後、15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で
加賀 100から150ミリ
能登 100から150ミリ

【波の予想】
15日に予想される波の高さ
加賀 3メートル
能登 3メートル
16日に予想される波の高さ
加賀 4から5メートル
能登 4から5メートル

【風の予想】
15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
加賀 陸上 10メートル（20メートル）
海上 18メートル（30メートル）
能登 陸上 10メートル（20メートル）
海上 15メートル（25メートル）

16日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
加賀 陸上 10から14メートル（20から25メートル）
海上 15から19メートル（25から35メートル）
能登 陸上 10から14メートル（20から25メートル）
海上 15から19メートル（25から35メートル）

幅のない表現

令和6年 台風第〇号に関する石川県気象情報 第☆号
令和6年〇月〇日〇時〇分 金沢地方気象台発表

（見出し）
台風第〇号は、15日から16日にかけて石川県にかなり接近し、通過するおそれがあります。加賀では15日夜から16日にかけて、能登では15日夜遅くから16日にかけて土砂災害、低い土地の浸水や河川の増水に注意・警戒してください。石川県では16日は高波に注意・警戒してください。

（本文）
【気象状況と予想】
強い台風第〇号は、14日3時には八丈島の南約270キロの北緯31度10分、東経138度05分にあつて、1時間におよそ10キロの速さで北西へ進んでいます。中心の気圧は965ヘクトパスカル最大風速は40メートル、最大瞬間風速は55メートルで中心から半径110キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。
台風は今後、日本の南海上を北西に進み、15日から16日にかけて石川県にかなり接近し、通過するおそれがあります。15日から16日にかけては、海上を中心に風が強く吹く所があり、16日の海上はしけとなる所があるでしょう。
台風の進路や発達によっては、15日夜から16日にかけて警報級の大雨となる可能性があります。また、16日は警報級の高波となるおそれがあります。

【雨の予想】
14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、
加賀 50ミリ
能登 10ミリ
その後、15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、
加賀 120ミリ
能登 100ミリ

【波の予想】
15日に予想される波の高さ
加賀 3メートル
能登 3メートル
16日に予想される波の高さ
加賀 4メートル
能登 5メートル

【風の予想】
15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
加賀 陸上 10メートル（20メートル）
海上 18メートル（30メートル）
能登 陸上 10メートル（20メートル）
海上 15メートル（25メートル）

16日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
加賀 陸上 12メートル（25メートル）
海上 15メートル（25メートル）
能登 陸上 12メートル（25メートル）
海上 17メートル（30メートル）

【防災事項】

おわり

- ・次の3か月予報の発表は、6月25日（火）14時の予定です。
- ・毎週木曜日の14時30分には1か月予報を発表しますので、目先の1か月は最新の1か月予報も確認ください。
- ・悪天時には、気象台が発表する最新の警報・注意報・気象情報等を利用するとともに、「キキクル（危険度分布）」を併せてご活用ください。